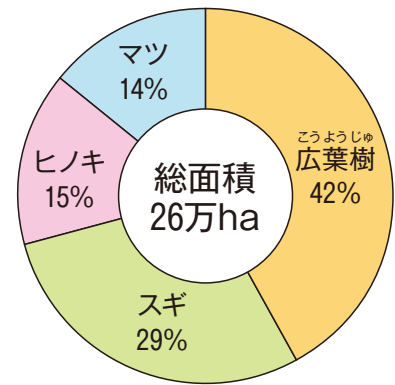


# 3 とつ とり けん りんぎょう 鳥取県の林業

## 1 はたら 森林の働きと林業

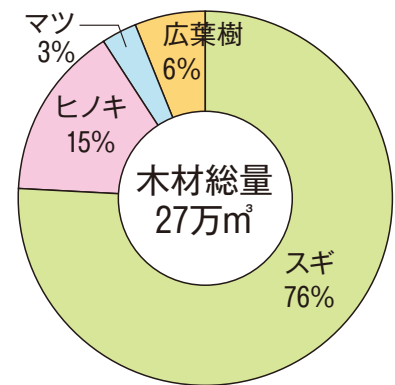
鳥取県には県の面積の74%にあたる約26万ヘクタールの森林があります。この森林を利用して古くから林業が行われています。



鳥取県の森林面積  
[2015年/鳥取県農林水産部]

## 林業はさいせいさん生産できるしげんを利用する産業

森林は、石油や鉄などちがい、木を切った後にふたたび苗木を植えていくと、木材をいつまでも生産できます。また、森林を利用して、きのこや山菜、薬草をさいばいできます。こういった森林の働きをうまく利用している産業が林業です。



鳥取県で生産された木材量  
[2015年/鳥取県農林水産部]

## くらしの中の木

山から切り出された木材は、私たちのくらしの中でたくさん使われています。スギやヒノキやマツは木の家を建てるのに使われます。

また、木材は、くだいたり、つぶしたりして、わたしたちが毎日使う本やノート、ちり紙などくらしに欠かせない紙になります。ほかにも、木材は、まきや、バーベキューに使う炭にもなります。



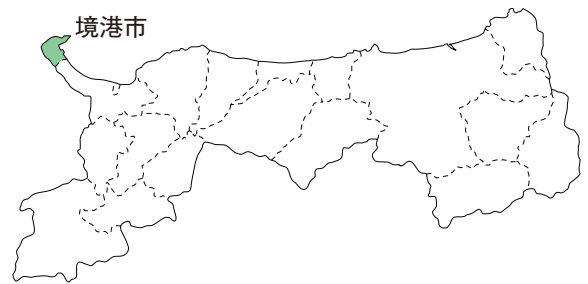
柱、かべ、ゆか、家具などに  
たくさんの木材が使われている

## 森林からのおくり物

林業ではきのこさばいをはじめ炭、薬草、山菜が大切なお金を得る方法ほうほうとなっています。また、近年は木を燃やして発電はつでんできるようになり、境港さかいみなとに平成27年にできた発電所では約1万戸の家庭で使用する電気をつくれるようになりました。



日新発電所



## くらしを守る森林

森林は、わたしたちの生活に必要な水をはぐくみ、こう水をふせいでくれます。また、風や砂をふせいでくれたり、地球温暖化の原いんの一つである二酸化炭素にさんかたんそを光合成こうごうせいによってとりこみ酸素をつくってくれます。

## 2 林業のさかんなところ

### ①鳥取県の林業の特色とくしよく

八頭郡やずぐんでは、江戸時代からスギが植えられており、皇居こうきよにも使われるような良質のスギ材が生産されています。大山だいせんを中心とした地ち域いきではマツ材を生産してきましたが、松くい虫のひ害により、生産量がへってきています。日野郡ひのでもさかんに人工林が育っています。



木の伐採ばっさい (智頭町)



アカマツの林 (大山町)



かんばつされた人工林にちなん (日南町)

## ②クローズアップ! 『木を<sup>せいさん</sup>生産する』

### (1)木を<sup>そだ</sup>育てる

苗木<sup>なえ</sup>を育てる、うえる、下草がり、かんばつ、えだ打ちなどの手入れをすることによって健全<sup>けんぜん</sup>な森林になり、木が利用できるようになります。



苗木を植える



下草がり



かんばつ・枝打ち



よく手入れされたスギ林

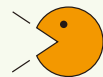


今、県内でスギやヒノキなどの人工林がどんどん育っています。しかし、木材<sup>もくざい</sup>のねだんが下がったため、手入れがされない森林も増えています。その中で林業<sup>りんぎょう</sup>をがんばっている人もいます。また、森林の手入れをてつだう人も出てきました。



ボランティアによる植林

#### 林業家の声



#### 林業でがんばる

あかほりむねのり  
赤堀宗範さん (智頭町)

山仕事は楽しいです。

次世代にほこりを持って渡せる山や木を作るためにがんばっています。





## (2)道をつくり，木を切り，運び出す<sup>はこ</sup>

切った木を安く運び出すためにかんたんでくずれにくい道づくりが進められています。

道づくりによって，木を切りたおしたり運んだりする<sup>き かい</sup>機械が山に入るようになりました。その結果，つらい山の作業が安全で楽にできるようになり，多くの若者が森の中で働くようになりました。



林の中につくられる道



機械で木を集めて運び出す<sup>あつ</sup>



車で運び出される木材

### 機械で木を運び出す若者

<sup>おおした</sup>大下<sup>ゆうげん</sup>林業<sup>有限</sup>会社の  
<sup>たけお</sup>大下<sup>とっとり</sup>武夫<sup>さん</sup>（鳥取市）

(株)グリーン・シャインの  
<sup>す</sup>須山<sup>さとみ</sup>里実<sup>さん</sup>（日南町）



### (3)木を売り買いし、加工する

とっとりけん 鳥取県には 4カ所の木材市場があり、  
もくざい 山から運ばれた木が売られています。

市場で買われた木材は、せい材所で板  
や柱に加工されます。また、さかいみなど にちなん  
町の工場では丸太をうすくむいて、せつ  
ちやくざいではり合わせて大きな合板や柱に加工されます。さらに、  
なんぶ 南部町の工場では、小さな板をはり合わせてから大きな板などに加  
工されています。



木材市場（智頭町）



製材所（若桜町）



合板工場（境港市）



南部町の工場で加工された  
板材

### (4)木を使う

県内には、約340けんの工務店が  
あり、多くの大工さんが活やくしていま  
す。

鳥取の気候や風土で育った木を使っ  
て、家を建てる運動も広がっています。



木で家を建てている様子（八頭町）



### ③クローズアップ!『森林を生かしたシイタケづくり』

広葉樹こうようじゆのクヌギやコナラのうやくの木を切り，その丸太けんにシイタケきんを植え，森林の中できのこを育てます。丸太から生えたシイタケは農薬のうやくを使うことがなく，体にも良い健康食品けんこうです。

鳥取県には有名なシイタケの「鳥取茸王たけおう」と「カンナマ」があります。「鳥取茸王」は，みがあつく大型のシイタケです。「カンナマ」は，湯につけると早くもどり，シイタケ特有のにおいも少なく，学校給食にも使われています。



コナラの丸太にはえたシイタケ



シイタケ「鳥取茸王」

#### シイタケ生産者の声

- 広葉樹林を守り育てるために，自然の中で育つシイタケづくりを始めました。たくさんとれるとうれしいです。
- シイタケをふくめて，バランスの良い食事を取り，健康な体をつくってほしいです。
- シイタケづくりをやってきましたが，とにかく量がないともうけることができません。



おおいえひろしげ  
大家繁博さん  
もちがせ  
(鳥取市用瀬町)



まつばらのり お  
松原則夫さん  
とうはくぐん みささ  
(東伯郡三朝町)



うえたに はじめ  
上谷 春さん  
ひの  
(日野郡日野町)